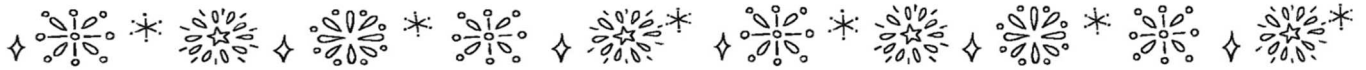




きりんぐみだより

2020年度7月号 尚徳福祉会生麦保育園

きゅうりの生成を楽しみにしている子どもたち。水をあげに行くと葉っぱの色やつるの長さに興味津々で、触ったり匂いを嗅いだりしています。蒸し暑い日が続いていますが、園庭で楽しそうに遊んでいる姿がとても微笑ましいです。水分補給や休息を大切にしながら、体をたくさん動かして元気に夏を乗り越えていきたいと思えます。



～最近のきりんぐみの様子～

進級・入園してから2か月が経ちました。新型コロナウイルスの影響でなかなかクラスのみんが揃う機会がありませんでしたが、6月の後半から少しずつ登園するお友だちが増えてきました。各テーブル5人ずつで4チームに分かれ、各チームのマークも子どもたちが話し合って決めました。朝の集まりでは、「〇がつ〇にち〇ようび」とみんなで確認すると、「あしたは〇にちだね」「もうすぐきんようびだね」と日にちや曜日に対して興味を持っている姿も見られます。また、片付けや給食の時間など「ながいはりが6になったら?」「おかたづけいつするの?」と先の見通しを持って活動しようとする場面が増えてきました。気づきを引き続き大切にしながら、一人一人のペースで丁寧に取り組めるよう見守っていききたいと思えます。



～春の園外保育～

6月19日(金)に春の園外保育がありました。お天気はあいにくの雨でしたが、自分の水筒を持って登園するのが嬉しかったのか、明るい表情で登園する子が多くいました。事前に子どもたちに「にこにこまんグループ」のカラーを伝えていたからか、当日もばっちり覚えていたきりん組でした。各グループに分かれて「もうじゅうがり」「後ろ歩きリレー」「じゃんけん列車」で遊んだ後は、楽しみにしていたお弁当の時間!長いレジャーシートを敷くと「やったー!」「たのしみ」と目を輝かせていましたよ。いつもと少し違う環境で、うさぎ組やぞう組のお友だちと会話をしながら食べるお弁当の味は格別だったようで、たくさんおかわりしていた子どもたちでした。これからも、縦割りの活動を楽しんでいきたいと思えます。



～なにいろになるかな?～

お絵かきや塗り絵の時に、色と色が混ざると「みてみて」と保育者や友だちに見せている姿が印象的だったことから、実際にみんなで色水を混ぜて見てみることにしました。色水あそびを始める前に「あおくときいろちゃん」の絵本を読みました。空のペットボトルに細かくちぎった花紙を入れて、上下に振ると…鮮やかな色に変わり大喜び!赤と黄色を混ぜたり、赤と青を混ぜたりと子どもたちなりに色の割合を工夫しながら、色を混ぜている姿が印象的でした。同じ色を混ぜていても、割合によって色が変わること気が付いた子もいて「もうすこしいれてみよう」と量の調節しながら楽しむ場面も見られました。今回は色の変化を楽しみましたが、次の機会では色水を使って遊びに取り入れていけたらと思えます。

おしらせ・おねがい

- ・今月から水遊びがはじまる予定です。詳しくは別紙の紙で確認をお願いします。
- ・保育参加に来てくださった保護者の皆さまありがとうございました。

